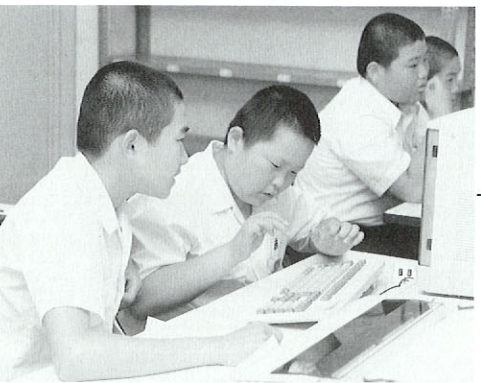
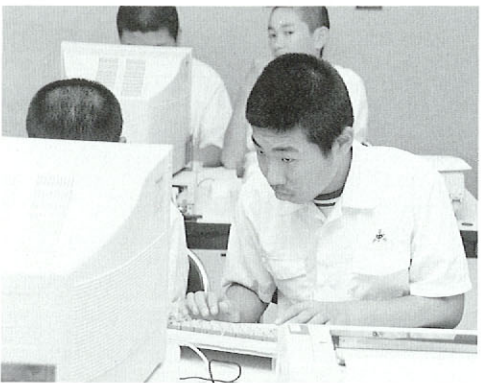


一番目のボーイフレンドは、陸上とパソコンかな。

パソコンじゃ、先生に負けないゾ。人気殺到のパソコンクラブ。

松橋町立 松橋中学校

パソコンにふれる音、モニターの絵を見て歓声をあげる生徒たち。松橋町立松橋中学校のパソコンクラブの光景です。松橋中学校は昭和六十一年度に、マイタツ計画のモデル校となり、パソコン二



十三台を導入。高度情報化社会に対応できる生徒を育成しようと、全校生徒を対象にパソコン教育に取り組んでいるのです。十一月から二ヶ月間は、ゆとりの時間をパソコン教育にあて、一年生から三年生まで全員がコンピュータの授業を受けることができました。今年も二学期にパソコンの授業が実施されます。現在は、その授

業のため先生たちの研修中。暇な時間を見つけては、コンピュータ室へ。それでも子供は覚えるのが早いので、追い越されるのを覚悟で、慣れないパソコンに向かって必死で勉強しているそうです。そんな先生たちと対照的なのが、生徒たち。パソコンクラブの希望者は増え、今では各学級から二名と制限するほど。パソコンで線や円を描いたりするのが、生徒たちに与えら

れた課題ですが、ほとんどの生徒が思うように描けなくても熱心に何度も挑戦していました。楽しい、カッコいい。といった感想を生徒たちはパソコンに持っているようです。去年の授業で初めてパソコンにさわったという女の子に話を聞いてみました。「ずっと陸上部で走り高跳びをやっていたんですけど、運動だけ

でなくいろんなことに挑戦したいと思ひ、このクラブに入りました。やってみるとだんだん難しくなり、パソコンって奥が深いなあと思ひ、改めようになりました。でも簡単なプログラムや情報集計・処理などもやってみたい。将来はパソコンを使った仕事につきたいと思ひています。」

未来の高度情報化社会を背負う子供たちがいきいきとパソコンに

マイタツ計画 高度情報化社会に対応するため、生徒たちに直接、コンピュータに触れる(タッチ)機会を与えようと県が全国に先がけて実施しているもの。昭和六十一年度から三年計画で、県内の公立小・中・高校など、全校八百六十九校に約三千六百台のパソコンを導入が進められています。